

人はなぜ形をつくり 形を味わうのか — Homo Pictor の美学 —

ホモ・ピクトル

photo Hironobu TAKAHASHI

熊本県立大学公開講演会

日時:2024年**10月5日(土)13:30-15:30**
(13:00開場)

三木 順子 氏
講演会

場所:熊本県立大学 大ホール

対象:高校生以上、県内外の建築を学ぶ学生、
県内外の建築・建設業関係者等

定員:300名(入場無料 / 当日先着)

※ 事前申込みは不要。当日会場にて受付を行います。

※ 会場の都合により、来場者多数の場合は入場をお断りすることもございます。予めご了承ください。

※ 駐車場に限りがあるため、ご来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

三木順子氏 プロフィール

大阪大学大学院文学研究科修了。
大手前大学人文学科 講師。
京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 准教授。
フライブルク大学(ドイツ) 哲学科 研究員を経て、
現在は神戸女学院大学文学部 教授。

専門はドイツの近現代の理論に基づく美学および芸術学。

おもな著書に、『キュラトリアル・ターン—アーティストの変貌、創ることの変容』(三木順子 監修・編、昭和堂、2020年)、『芸術展示の現象学』(太田衛夫・三木順子編、晃洋書房、2007年)、『形象という経験』(三木順子著、勁草書 2002年) などがある。

